

We change “安曇川”

一生懸命 ～学ぶ・動く・つながる～

令和2年度スタート 難局を乗り越え新たな安曇川中学校の創造を
昨年度末から全世界を混乱させている新型コロナウイルス感染症。感染拡大で予断は許さない状況の中で4月8日(水)学校は最大限の感染拡大防止策をとりながら教育活動を再開しました。

ただ、国では緊急事態宣言が出され、東京、大阪などがその地域に指定されましたが、隣接する地域での感染拡大などを総合的に判断され、高島市では4月11日(土)から5月6日(水)までを臨時休業とすることとなりました。保護者の皆様には3月に引き続きご苦勞をおかけすることとなりますが、この緊急事態を乗り越えるためにご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

始業式では、「当事者意識」もつことが大切だと話しました。『感染しないようにする。』という考え方はなく、自分が『すでに感染しているかもしれない。発症していないだけ。』という意識で感染を絶対に拡大させないという行動や生活を送りましょうと話しました。そうすれば、新型コロナウイルス感染症を理由としたいじめや偏見、無神経な発言は起こらないはず。その上で、絶対に感染を拡大させないという姿勢で、自分でできる対策をしっかりとるように話しました。そうはいつでも目に見えないウイルスに対する対策は100%ではありません。今後の再開に向け、学校でできる努力はしっかり行うこと、教育課程の履修に向けた年間計画の再編などに努めていきたいと思えます。情勢は日々刻々と変わり先行き不透明ですが、できる限りの対応を進めていきますのでよろしくお願いいたします。

We change “安曇川” に込めた思い

「チーム安中」を合い言葉に安曇川中学校は教育活動に一致団結して進んできました。様々な教育課題が山積する中で、チームで対応する、地域や保護者の皆様のあらゆる力を取り入れて解決にあたる、という意味でのチーム安中は大きな力を果たしてきました。

校訓「一生懸命 ～学ぶ・動く・つながる～」の目指す姿にも近付いてきたように思えます。ただ、いろいろな部分での停滞はないでしょうか。澄んだ水も一カ所にとどまっていたはやがて濁るものです。常に自分たちを見つめ、至らないところは改善し、前を向いて進んでいくことが重要なのではないのでしょうか。

そこで、ただ変える change ではなく、『create 創造、develop 発展、evolve 進化、の3つの視点をもって、安曇川中学校は将来に向かって change する』という思いを込めました。

We change “安曇川” をこの安中通信の題とし、これからの合い言葉とし、チーム安中で前進していきたいと思えます。

頑張れ先輩！！

元巨人・坂本工、
プロ復帰目指す
アンダースローに
挑戦



という記事が4日(土)のスポーツ新聞やいろいろな Web ページに載っていました。内容は、

昨季限りで巨人を退団した坂本工投手(25)がアンダースローに挑戦し、日本野球機構(NPB)復帰を目指していることが3日、分かった。

関学大津硬式野球部出身の右腕は、2017年に育成ドラフト4位で巨人入団。最速147キロの上手投げで昨年3月に支配下登録され、1軍で2試合に登板した。昨秋に戦力外通告を受け、「プロに戻りたい。今でもプロへの思いは強い」と下手投げ挑戦を決めた。現在は兵庫県内でトレーニングや投球練習を行っており、平均で140キロ前後を計測するようになった。まずは独立リーグ入団、将来的にはNPB復帰を目指している。

昨年、イチローとも対戦した坂本選手。安中野球部の先輩です。応援をお願いします。